

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

99 2.3 No.49/4

99春闘/中江・水野必勝/20周年に向けて

40 定期委員会へ

2月22日(月)13時
千葉市民会館

99春闘勝利に向け

深刻な大不況—資本主義体制の危機は、どのような手を打とうが、もはや解決のつく状態ではない。日経連は99春闘に向けて、「ベアゼロは当然。賃下げもやむをえない」という方針を打ちだした。連合の要求は何とベア一・一%だ。99春闘は、賃上げどころか賃下げを資本とそこの手先が労働者に強制する場になるうとしていて。しかもこの国会では、低所得者には増税という、とんでもない「減税」案が通ろうとしている。今こそ大失業時代に抗する春闘を創りあげなければならない。

中江・水野必勝へ!

2月22日、第40回定期委員会が開催される。結成20周年を前にした40定中は、99春闘はもとより、4月に行われる統一地方選挙での船橋/勝浦市議選必勝に向けた総決起体制の確立、3月末に向けて最大の正念場を迎えている一〇四七名の解雇撤回闘争の意志統一、今国会での強行が画策されている新ガイドライン・有事立法阻止に向けた闘争体制確立など、今後の動労千葉の進路にとって、決定的に重要な委員会となるうとしていて。

結成20周年に向け

われわれはその激戦の渦中で3月13日に、結成20周年記念レセプションを開催する。この日をステップに、新たな挑戦を開始しよう。この激動の時代に通ずる新しい世代の動労千葉を創りあげよう。より一層の団結強化と組織拡大を実現しよう。組合員・OB・家族会の総結集をかたろう。われわれが歩んできた道程への確信をあらためて讃えあい、そしてそれに満足することなく、新たな飛躍をかけた挑戦を開始しよう。

JR貨物本社に怒りを込めて申し入れ!

貨物 会社間格差を許すな!

動労総連合は一月一八日、貨物本社に以下のような申し入れを行なった。この間の会社間格差を打破し、運転保安を強化するために、さらに闘いを強化しよう!

動労総連合口頭の申し入れ内容

1 この間の「経常損益の赤字」を理由にして、賃上げ・期末当の支払が組合要求と大きくかけ離れた状態が続いている。このため会社間格差が拡大し、社員のなかに不満が充満している。

景気動向や国鉄分割・民営化の経過に鑑み、今日の経営状態を考慮する時、「線路使用料」の抜本的軽減措置が講じられるべきと考えるが、会社の考え方を明らかにされたい。

2 運転保安について、下記の考え方を明らかにされたい。

(1) 台風により列車が大幅に混乱した九月一六日深夜、5986列車が千葉駅0番線に、また、5983列車が同6番線に同駅通過予定で入線したところき電停止されていた。これは運転保安上きわめて重大なことと考えるが、会社の考え方を明らかにすること。

(2) 異常時におけるき電停止及び列車遅延による列車留置後のブレーキ試験の現状と今後のあり方について会社の考え方を明らかにすること。

(3) 旅客会社による異常時の運転整理について、貨物列車が無視されている実態が年々深刻化していることに關して、会社の考え方を明らかにすること。

3 京葉線への貨物列車の乗り入れについて、時期・実施計画・列車設定等具体的内容について明らかにされたい。また「臨海副都心線」乗り入れについて具体的展望を明らかにされたい。